

# 看護大学 だより

#13

新しい学び・人・キャンパス  
福岡看護大学の魅力を  
ご紹介します！



2019年9月より、一期生の3年次臨床実習が開始されました。2020年3月までの半年間、九州大病院など多くの病院や施設において、5人グループ単位で実習先を変えながら成人(急性・慢性期)、母性、小児、精神、高齢者、高齢者在宅、訪問の各看護学に関連する看護を実施していきます。これまで経験した基礎看護学実習や看護過程実習を基盤に、看護実践の学びをより一層深める本格的な実習です。

西田結香さん、野中愛さん、平井美菜さんは、「開始前はやっていけないか不安でも緊張していた。実習が始まって、自分が心を開かないと患者さんも心を開いてくれないことを実感し、一人で悩んでいたことを指導者や教員に相談できるようになった。」「解らないことを解らないままにしておくことは怖いと思った。」「1年次や2年次の実習を経て、今回は一層、情報収集のポイントが解るようになり、記録も徐々に速く書けるようになった。」「長期間に渡る実習の中で優先順位を考えることができるようになった。」「自分の体調管理のためにもオン・オフの切り替えが大切だと実感した。」など、今回の実習で得た学びについて話してくれました。様々な分野の看護学の実習をこなしていくにあたっては、準備も実施もハードなものとなりますが、一方で、多くの実習施設での看護実践を行えたことで、自分の就職先についてのイメージもでき、かけがえのない経験が出来たようです。

この4月には彼ら一期生は最終学年を迎え、統合看護学実習・就職試験、看護課題研究などを経て、いよいよ国家試験へと臨むこととなります。

(大久保つや子・寒水草納)



## 福岡医療短期大学

### 「私立大学研究ブランディング事業」のお礼

福岡医療短期大学は、福岡歯科大学とともに平成29年度文部科学省「私立大学研究ブランディング事業」に選定されました。本ブランディング事業では「口腔機能向上でイキイキ長寿社会の実現」をメインテーマに、次の4つの研究、A. 口腔機能管理、B. 栄養改善、C. 運動機能維持向上、D. 地域住民主体の社会資源創出を設定しました。

具体的には、A. 口腔機能管理は認知機能と口腔ケア、口臭抑制、口腔乾燥、咬合力保持に関する研究、B. 栄養改善はロコモティブ症候群予防の料理メニューの開発研究、C. 運動機能の維持向上は身体運動機能と口腔運動機能、および顔面骨格との関連についての研究、D. 社会資源の創出は「イキイキ長寿サポーター」の養成を目的とした活動を展開してきました。さらに、学内の研究活動の活性化を目的として、平成30年6月には研究ブランディング事業に係る研究公募を行い、その結果、福岡歯科大学および福岡看護大学からの9つの研究テーマが採択され、学内の研究活動の活性化につながりました。

このように、健康寿命の延伸に資する多面的研究を展開してきましたが、令和元年度でいよいよ最後となりました。口腔機能と栄養、運動との関わりに関して新しい発見や考察が報告されております。またフレイルサポーター養成により、さらに地域住民の健康寿命の延伸につながるものと考えております。さらに、これまでの共同研究をさらに加速させ、お世話になった地域に少しでも貢献できるように頑張っております。

研究にご協力いただきました地域の皆さまをはじめ、本ブランディング事業にご協力いただきました関係各位のご支援とご厚情のたまものと、教員一同、心より厚く御礼申し上げます。研究はまだ続いていきますので、どうか今後ともご支援・ご協力いただけますよう、心よりお願い申し上げます。

## 短大 VOICES #13

夢を叶える場所  
「福岡医療短期大学」  
多くの出会い・絆を育てている  
短大の情報をお届け！



歯科衛生学科 教授  
松尾 忠行